

八光超音波ガイド下生検針 ソノプシー C1

SONOPSY-C1

SONOGUIDE BIOPSY NEEDLE SONOPSY-C1

医療機器承認番号：16000BZZ00830000



適 応

- 肝臓・膵臓癌などの腹部腫瘍の生検

特 長

- 21G※の生検針（先端部）で組織を採取できますので、安全確実に診断が進められます。
- ワンハンドで穿刺を行うことで、手技が迅速・確実となり、小腫瘍の生検が可能となります。
- 外針の段差加工によって、先端に十分な吸引圧が加わり、確実に組織を採取することができます。
- 吸引筒は軽量で穿刺・吸引操作がしやすい設計になっています。

※18Gの生検針の製品もあります。



hako®

管理医療機器 画像誘引生検キット

心のかよう医療器ハッコー

本製品は Disposable 製品ですので、再度のご使用は行わないでください。
製品の仕様・外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

八光超音波ガイド下生検針

ソノプシー C1

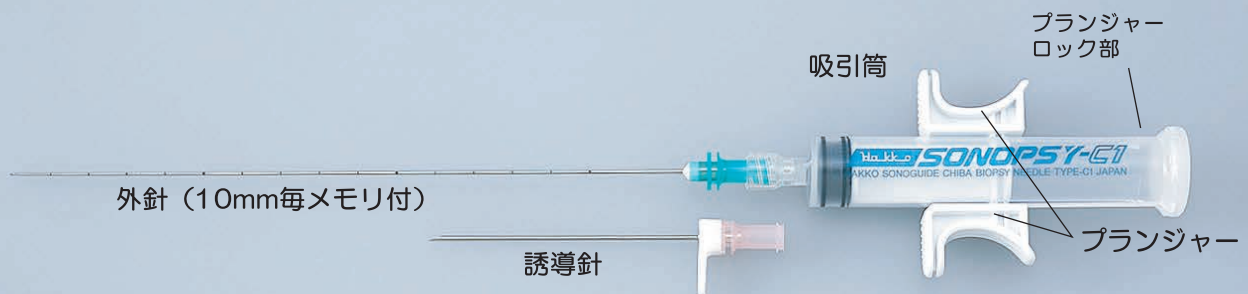
SONOPSY-C1

使用方法

1. 超音波映像下で穿刺ルート及び刺入部を確認する。
2. 穿刺部位（刺入部周辺）の皮膚を消毒する。
3. 穿刺部位に局所麻酔を行う。
4. 穿刺目標を描出し、穿刺ラインを再度確認する。
5. 刺入部位に小切開を加えた後、探触子の穿刺孔（穿刺アダプター）を通し、写真1のように吸引筒を把持し、ソノプシーを皮膚に刺入させる。（写真1）
誘導針を使用する場合は、誘導針を穿刺用探触子（穿刺アダプター）に装着し、わずかに皮膚を穿刺し、ソノプシーを刺入させる。
6. 穿刺目標が超音波診断装置で最も鮮明に抽出される位置で呼吸を停止させ、針先エコーを確認しながら目標部位の手前までソノプシーを刺入させる。（写真2）
7. 吸引筒のプランジャーをロックのかかる位置まで引き、吸引筒に陰圧をかける。（写真3）
8. そのままの状態ですぐに2～3秒間保持する。（保持時間が短い場合、組織が採取できない場合がある。）
9. 2～3秒間保持した後、素早くソノプシーを押し進めて目標部位を貫通させる。目標部内を二往復させる。
10. ソノプシーを抜去し、呼吸停止を解除する。
11. 圧迫止血等の術後処理を行う。
12. 外針をはずし、シリンジを装着して生検した組織片を濾紙にゆっくり押し出す。



写真提供：千葉大学大学院医学研究院腫瘍内科学 江原 正明先生



仕様

| 製品コード | サイズ |
|----------|----------------------------|
| 22032170 | 生検針：21G×170mm 誘導針：18G×70mm |
| 22031830 | 生検針：18G×170mm 誘導針：15G×70mm |

包装形態
1箱5セット入、1セット毎ピールオープントレイ包装、EOG滅菌済

本製品をご使用になる前に、製品の注意事項等情報（電子添文等）の内容を必ずご確認ください。
注意事項等情報には、「禁忌・禁止」事項や使用方法、使用上の注意等重要な事項が記載されています。

販売窓口 〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 南江堂ビル TEL (03)5804-8500
ホームページ <https://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 (011)215-1530 横浜 (045)954-2111 名古屋 (052)914-8500 福岡 (092)411-4100
仙台 (022)257-8502 長野 (026)276-3083 大阪 (06)6453-9102 熊本 (096)288-4690
柏 (04)7131-8580 金沢 (076)225-8560 岡山 (086)243-3985 本郷商品管理センター
本郷 (03)5804-8500 静岡 (054)282-4185 松山 (089)935-8517 (03)5840-8502

製造販売

株式会社 八光
メディカル事業部

hakko®

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地